

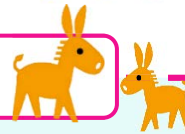
森山リハビリテーションクリニックだより

2024年 5月

急に暑くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調を崩されている方もおられるかもしれません。5月でこの暑さ…今年の夏は一体どうなるのか心配の声も聞かれます。

毎年この季節になると“院内の温度と湿度管理”に頭を痛めます。特に病棟内では、リハビリなどで動く時と病室で休む時とで、体感温度に大きな差が出ます。湿度に合わせて肌寒く、温度に合わせて湿度が上がり過ぎにくくと、快適な空調管理のために試行錯誤を繰り返します。患者様がリハビリや治療に専念できるよう、環境調整に気を配ってまいります。

リハクリの認知症ケア



先日、厚労省より「団塊の世代が65歳以上となる2040年には、認知症の高齢者は584万人(65歳以上の高齢者の15%)となる」という予測が発表されました。『認知症の有病率』は、85歳を超えると男性で51%、女性で63%となると推計されます。

患者様の平均年齢が81歳の当院の病棟では、『認知症ケア』はとても重要な関わりの一つです。認知症の方は『できる力』をたくさんお持ちです。一人ひとりの患者様の力をどのように引き出し、活用していくかが大切なポイントになります。リハビリ場面だけでなく、病棟生活全般において患者様の持つ力を活用するケアを心掛けています。

例えば『見当識※』への働きかけとして、病棟内の季節飾りを患者様と一緒に作成します。季節を感じることや手先を動かすことは”楽しみ”や”役割”になりますし、ここでの会話は、”社会性の保持”に役立ちます。認知機能の維持は、退院後の生活に大きく影響します。様々な角度から、退院後に『その人らしく暮らすため』の準備をお手伝いしております。

※現在の年月や時刻、自分がいる場所などの状況を把握し理解する能力

うろこは1000個の
兜で作成

5月の病棟の様子

キウイフルーツのうろこ



鯉のぼりの制作の様子



お飾り

【こどもの日の献立】

オムライス
かしわ餅風ポテトサラダ
コンソメスープ
鯉のぼりゼリー



粥1口大食



生活の中で『困りごと』がございましたら、お気軽にご相談ください。

【窓口】 TEL:03-6426-7318
担当：MSW 井坂 (9:00~17:00/土日祝除く)

